

2023年9月28日

京成電鉄株式会社 グリーンローン 2023年度レポート

1. 資金充当状況

調達資金 100 億円の全額をリファイナンスにより充当しており、未充当残高はありません。※1

事業区分	内訳	充当額(百万円)	グリーンローンによる充当割合(%)
①鉄道事業		5,676	100%
車両の導入に係る投資 (クリーン輸送)	3100形車両導入※2	978	100%
鉄道関連設備に係る投資 (気候変動への適応)	法面補強実施	1,036	100%
	高架橋改修	1,782	100%
鉄道関連設備に係る投資 (クリーン輸送)	変電所設備更新	1,880	100%
②開発事業		4,324	100%
環境に配慮した不動産 開発に係る投資 (グリーンビルディング)	京成千葉中央ビル 建設資金	4,324	100%
合計		10,000	100%

※1 グリーンローンの発行年から3年以内に開始された事業に充当しております。

※2 ファイナンスリースのリース料に充当しております。

2. 環境改善効果

① 鉄道事業

車両の導入に係る投資(クリーン輸送)

～3100形車両導入～

3100形は「受け継ぐ伝統と新たな価値の創造」をコンセプトに新京成電鉄と共同開発した新型車両で、2019年から計6編成・48両を導入しています。スーツケース置場を兼ねる折り畳み式の座席や防犯カメラ等を設置し、快適で安全な車内環境を提供しているほか、モーターを効率よく制御する「SiC-VVVF制御」システム、減速時にモーターで発電した電力を架線に戻す「回生ブレーキ」を採用することで、消費電力を削減しております。



車両	CO2排出削減量 (t-CO2/年)	比較対象
通勤形3100形(8両編成)×5(40両) <代替>	4,793.05	代替車両 通勤形3500形との比較
通勤形3100形(8両編成)×1(8両) <増備>	66.37	標準車両 通勤形3000形との比較

鉄道関連設備に係る投資(気候変動への適応)

(1) 法面補強

近年大型化し頻発している台風や集中豪雨等により法面(線路脇斜面)の土砂が流出するのを防ぐため、コンクリートフレーム等を使用し補強工事を実施するものです。本グリーンローンは、宗吾参道駅～公津の杜駅間等の法面補強工事に充当しました。



(2) 高架橋改修

激甚化する豪雨、洪水、地震時の災害に対応すべく高架橋の改修を推進するものです。本グリーンローンは、京成千原線(千葉中央駅～ちはら台駅間)の高架橋で大規模な改修工事を実施しております。また、現在実施中の京成本線の荒川橋梁架替工事では、橋梁付近の堤防が周辺の堤防の高さよりも約 3.7m 低く洪水時には越水の危険性があることから、国・自治体・当社が共同で橋梁の架け替えと切り欠き部の堤防の嵩上げを実施します。



鉄道関連設備に係る投資(クリーン輸送)

～変電所設備更新～

列車運行を支える変電所の設備更新にあたっては、従来の鉱油に加え生分解性のある植物油を絶縁油に使用することで、廃棄時の環境負荷を低減させた変圧器、ノンフロン式の整流器を適用しております。2019～2021 年の間では、八広変電所にて前述した更新工事を行っております。



② 開発事業

環境に配慮した不動産開発に係る投資(グリーンビルディング)

～京成千葉中央ビル～

千葉中央エリアの活性化、賑わい創出を目的とし開発した、商業・オフィス・ホテルからなる 8 階建て複合施設です。旧「千葉中央駅西口ビル」(1967 年開業)を建て替え、2021 年 10 月に竣工、リニューアルオープンしました。

環境に配慮した造りとして CASBEE 認証 B+を取得しており、外皮性能向上や全面的な LED 照明等、高効率な設備システム導入により省エネルギー化を図り、ライフサイクル CO2 排出量の削減に努めております。



CO2排出削減想定量 (t-CO2/年)	1,273.2
-------------------------	---------

以上